

▶ 第27回目となる今回は、山梨県立産業技術短期大学校 電子技術科 1年 常葉健太さんが、昭和産業 株式会社 代表取締役社長 岩下和彦氏 を取材しました。



経営者

昭和産業 株式会社  
代表取締役社長

岩下 和彦 氏

## 社会のニーズをくむ コミュニケーション能力を養おう

学生



山梨県立産業技術短期大学校  
生産技術科

1年 常葉 健太 さん

▶ **学生** 放送通信機器の製造をされていると伺いました。事業内容を詳しくお聞かせください。

▶ **経営者**  
当社は創業50周年になります。これまで、放送局向けにスタジオや送信所の放送通信機器、遠隔監視制御装置などを設計・製造してきました。現在は、放送通信機器の製造で培ったノウハウをもとに、①半導体製造装置などの産業機械の組立や現地据え付けといった製造サービス ②回路設計・基板実装組み立て ③放送通信機器の設計・製造の3つの事業を柱としています。

▶ **学生** 中小企業の良いところはありますか。

▶ **経営者**  
社員一人ひとりの可能性が大きいことです。大企業では業務が細かく分けられています。中小企業の社員は様々な業務をすることが出来ます。社長に直接、新しい事業や製品を提案することも出来ます。そうなれば『言いだしっぺ責任』ですから、発案者がリーダーシップをとることになります。良い製品ができれば大手企業と勝負することも出来ます。

▶ **学生** 将来、電子系の製造職に就きたいと思いますが、学生時代にどのような勉強をしたらよいでしょうか。

▶ **経営者**  
弊社には、学生時代に電気・電子の専門分野について学んだことがない社員もたくさんいます。そうした社員も「はんだごて」を手に仕事をしています。とはいえ、弊社の仕事では社

会やお客さまのニーズにあった製品を設計・製造するためにどのような仕様が必要かを考えて形にしなければなりません。回路設計や計算、ときには調査や実験をする必要があります。そのような時に学生時代に学ぶ電気・電子の専門的な知識・技術が役に立ちます。

学校の授業で与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら興味を持って新しいことにチャレンジしていくことが大切だと思います。主体的に挑戦することで、新しい知識や技術を身に付けることに繋がると思います。

▶ **学生** 求める人材について教えてください。

▶ **経営者**  
明るく挨拶ができ、まじめに仕事に取り組む姿勢の他にコミュニケーション能力を備えた人材を求めます。弊社の仕事では、お客様との会話からその意図を汲みとって仕様に反映して製品にしなければなりません。相手のニーズを知ってこそ、優れた技術力が生かれます。コミュニケーションが苦手な人は、友人や家族と身近なで

きごとについて感じたことを話して、お互いの違いを確認することから始めたらどうでしょうか。自分とは違った考え方や感性を知ることはおもしろいことだと思いますよ。

また、仕事では、困難な課題に直面することもあります。学生時代に、徹夜で課題や勉強に取り組んだというような「つきぬけた経験」をしたことがあるということも重要です。

▶ **学生** 御社の今後の展望についてお聞かせください。

▶ **経営者**  
今年が創業50周年ですから、これからは100周年を目指します。会社が継続していくためには、社員がそれぞれの業務を担当しながら、チーム内や後継者に技術や知識を継承していくことが必要です。業務では困難な状況や問題も発生しますが、みんなで知恵を出して解決することはとてもやりがいがありおもしろいことです。より多くの社員が、やりがいとおもしろさを感じながら仕事に取り組んで100周年をいっききと迎えたいと思います。

### 取材を終えて...

インタビューを通して、「お客様の意図を正しく理解する力」や「学生の時に何かをやり抜く経験をしている」といった人材が求められていることを知りました。また、他人の敷いたレールではなく自分で敷いたレールで挑戦していくことの大切さと大変さを教えていただきました。

今まで何気なく過ごしていた時間をこれからは「何をしたいのか」、「何を目標にしているのか」を意識しながら生活していこうと思いました。経営者の方にインタビューをするという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

